



私たちは全ての子どもたちが心もからだも健康に、そして周囲の人々の中で自分の良さを十分発揮しながら幸せに生きてほしいと願い、北駿地域の各学校や関係機関との連携を重ねています。今後さらに広く、強いつながりを目指したいと考え、特別支援学校が関わっている様々な事業や相談事例などを紹介する広報誌を発行いたします。随時配信いたしますので、ご一読いただけたら幸いです。

幼稚園の先生方との研修（長泉町）

「発達の様子を見てもらいたい園児がいるのですが…。どこに相談したらいいでしょうか？」と問い合わせがありました。どの特別支援学校でも相談を受けられることを伝えました。「訪問してもらえますのですか？職員の研修にもしたいのですが…」

発達段階を大まかに捉えることができるアセスメントツールを持参し、参観後、他の園の先生方も交えて研修の時間を持ちました。園の先生方は様々な角度から幼児の発達をとらえる目をお持ちです。たくさんの視点を出し合うことができました。さて、どんなふうに取り組むか？これもまたいろいろな意見が出され、皆さんで方向性を見出すことができた有意義な研修となりました。



小学校特別支援学級の保護者会（御殿場市）



「この子たちは中学校、そして高校と、この先どんなところでどんなふうに学習していくのだろうか。

将来はどんな生活をしていくことになるのだろうか。進路について知りたい。」という保護者の皆様からの要望があり、何校かの支援学級で話をさせていただいています。

どんな進路が考えられるのかという説明と共に、小学校中学年ごろから中学校の支援学級や通常学級を本人と共に見学してみること、中学生の早いうちから高等学校並びに特別支援学校の本校、分校も見学してみること、などをお勧めしています。お子さん自身が自分の事として見て、聞いて、体験して、自分に合った学習の場所を選んで決められるよう大人がサポートしていけると考えます。

中学校特別支援学級での出前授業 = 職業「清掃の方法」= (御殿場市)



タオル雑巾を使ったふきそうじを題材にして、「なぜ清掃が必要なのか」や「5S～整理・整頓・清掃・清潔・習慣～」によるよりよい生活環境づくりを学習しました。タオルが雑巾？と不思議そうでしたが、目をキラキラさせて取り組む生徒たちの様子が印象的でした。

高等学校のケース会議、授業参観 (小山町、御殿場市、裾野市)

高校にて特別支援教育を推進するにあたり肝になるのは教員間での共通理解です。そのツールとして不可欠なのが「ケース会議」です。これまで特別支援学校が関わったケース会議では、授業参観後、具体的場面においての支援について検討し、その生徒だけでなく、他の生徒にも生かそうという意見も出て、支援に広がりを見せていました。

ケース会議の進め方としては

第一段階：関わる教員による大枠での共通理解のためのケース会議

第二段階：具体的な場면을絞っての少人数でのケース会議 の流れがいいのではないかと考えられます。

これまで行った具体的なケースとしては

- 修学旅行での対応 (飛行機が怖い、集団行動や予定変更が苦手)
 - ラジオ体操を覚えられない (運動が苦手、ボディイメージの乏しさ)
 - 更衣ロッカーの使い方 (整理整頓ができない、場所が覚えられない)
- 等があります。いずれも障害特性からの対応の仕方を提案し、高校側の意見や実情をかんがみ、具体的な支援方法を検討しました。



特別支援学校の実践 ♡年齢や発達段階に応じた性教育♡

「健康で幸せな生活。自分の事をよく知り、自分の事も周りの人々のことも大切に、大事に思う、命を大事にする。」こんな思いで小学部から高等部まで児童、生徒の実態に合わせた性教育の授業を行っています。自分の身の回りのこと、二次性徴、思春期の体と心、大人のかかわり方やふるまい、命の誕生、命を育む責任と覚悟などが大まかな内容です。小、中学校への出前授業も行います！



内容についてのご意見、ご感想、ご質問など、また相談、ケース会議参加依頼等もございましたら、下記の担当までご連絡ください。

御殿場特別支援学校 連携課 長田三千絵 大石啓文

☎ 0550-87-8200

✉ gotemba-sh@edu.pref.shizuoka.jp